加治木町水道課と管工事組合

高齢者宅等 パッキン取り替え

手際良く作業する参加者
＝加治木町の現地で

加治木町水道課と加治木町管工事組合（森木茂会長）は3日、同町の高齢者及び母子家庭宅で水道蛇口パッキンの無料取り替えの奉仕作業を行い、感謝された。

平成7年から始まったこの奉仕作業は、町内16業者を2班に分け、水道課職員と組合員が2人1組となって各家庭を訪問するもの。今年は50戸の申し込みがあった。

同日午前9時、水道課に集合した参加者を前に、今西健二水道課長が「今年も恒例の奉仕作業を実施することとなった。これまで訪問した家庭からは多くの感謝の言葉が寄せられており、これも皆さんのご協力の賜物」と挨拶。森木会長も「今年5月会長に就任したばかりだが、微力ながら精一杯お手伝いしたい」と述べた後、参加者はそれぞれ担当宅へと出発した。

このうち、同町上木田地区の津之地さん宅では屋外及び屋内2カ所の水道蛇口パッキンを取り替えた。手際の良い仕事振りを見ていた津之地さんは「パッキンが緩んで、年寄りの力ではきちんと締められなかった。ありがたいことです」と笑顔を見せていた。

当日の参加業者は、㈲産業㈲、福永建設㈱、第尚武組、迫村工業㈱、森一建設㈱、㈱山藤建設。

松元町建設業同友会

地域住民に感謝込め

松元町建設業同友会（町田孝之会長）は1日、日置郡松元町の春山、直木地区周辺の道路沿いで奉仕活動を実施、会員総出で地域住民への日頃の感謝を込めて草払いやごみ拾いなどを行った。

奉仕作業は、同会が日頃お世話になっている発注者や地域住民に対する感謝を込めて毎年実施しているもの。

当日は会員ら約30人が参加し、㈱有村建設の倉庫前に集合、作業に先立ち町田会長が「我々建設業は、発注者や地域住民の理解と協力で工事が順調に進められる。今日は住民の皆さんへの日頃の感謝の意味を込めて作業を行ってほしい。また、作業時は交通安全に十分注意して取り組んでもらいたい」と挨拶した後、二手に分かれて作業を開始した。

入念に草払い等の作業を行う会員ら
＝松元町の現地で

作業は、ふるさと農道屋村線沿いの草払いと町道直木平谷線ではタイヤショベルで道路沿いの土砂を除去し、草刈り機やスコップなどを手に入念に草払いやごみ拾いを行い、半日を掛けた作業に心地よい汗を流して地域住民に喜ばれた。

会員は次の通り。

㈲竹之内組 ㈱有村建設 ㈲早田建設 ㈱二俣建設 南興建設㈲ ㈱中馬建設 ㈲岩建設 ㈲タ力施工 日松開発㈱ 寺園建設 昭和電気工業㈲ ㈲新山工務店 山方建設㈲ ㈲馬込建設工業 ㈲建匠産業 ソイルド技研㈲

美しく仕上がっていく道路舗装
＝溝辺町の現地で

末重建設――

技術生かし道路補修

末重建設㈱（末重忠義社長）はこのほど、姶良郡溝辺町の町道馬立北原線で道路補修の奉仕作業を行った。同社では毎年この時期、道路舗装など建設業ならではの経験と技術を生かした奉仕作業を実施しており、今年は現地での作業となった。

奉仕作業には約10人が参加。あらかじめ前日に綿密な打ち合わせを済ませて段取りは確認してあり、当日午前8時、現地集合した一行は、安全看板を立てるや、すぐに作業に取りかかった。

現場で鍛えた自慢の腕前で作業はてきぱきと進められ、ローラーなど重機の運転もお手のもの。

川内市で新幹線ウオーク

市民1500人が高架を歩く

九州新幹線建設局川内鉄道建設所と同工区7JVは2日、川内区間全線が高架でつながったのを機会に、市民らに歩いて見てもらおうと新幹線ウオークを開催。乳母車を引いた家族連れら1500人が、川内駅から川内川橋梁を経て高城トンネルまでの約2・8キロを歩いた。

高山博文建設局長の挨拶に続いて、森卓郎川内市長が「参加した皆さんは、新幹線より1年早くこの高架線を歩くわけです。来年夏には新幹線の車両が川内港に陸揚げされる予定で、いよいよ新幹線がやってきます。開通までに色々なイベントも企画されているようです。これからも奮ってご参加いただけるように」と挨拶した。

続いて、東洋・新井・南生JV職長会の中薗靖英会長（坂本建設㈱）や住友・森・勝村JVの柏木武信職長（㈱南日本運輸建設）、オリエンタル・興和JVの女性職員、国分なおみさんの3人が、大勢の参加者を前に思い出などを話した。

そのなかで国分さんは「ウオーキングに参加された皆さんは、新幹線に実際に乗られるときは、他の人とは違う思いで乗られることと思います。私も、この現場で働くさまざまな人たちの努力や苦労を思い出します。色々なことがありました。私に与えられたスピーチの時間はわずか1分。これから一つひとつお話したいのですが、とても語りつくせません。熱い太陽に気をつけてゴール目指して頑張ってください」と呼びかけた。

主催幹事の戸田・植村・野村JVの田中学所長は「工事中は地域の皆さんに色々協力をいただいた。そのお礼もかねて今回のイベントを企画した。新幹線を歩く機会は今日のこの日しかなく、最後のベストチャンス。楽しんでいただけたと思う」と話していた。戸田JVのコーナーでは、田中所長自ら絵筆をふるった「石組の坑口」、「川内川橋梁」の絵画（16号）や豊武富夫職員が彫った「神楽面」なども展示された。

家族連れら1500人が参加したウオーキング＝川内川橋梁で

―三竹工業―

地域住民へ恩返し

三竹工業㈱（竹下豪修社長）は1日、鹿児島市の県道徳重横井鹿児島線の犬迫小学校前から岩崎橋付近までの6キロと、国道3号の国道工事事務所付近から肥田橋までの清掃を実施、半日掛けての奉仕作業に地域住民から喜ばれた。

奉仕作業は、創立記念日に合わせて毎年恒例となっている。今年度は事務所近辺、県道の奉仕作業に加え、国道沿いの空き缶拾いや歩道植え込み花壇草取りなどの清掃作業も行った。奉仕作業は「どんな厳しい時でも奉仕は企業の基本」の理念のもと、日頃地域住民の方に迷惑をかけていることから地域住民への恩返しと交流、感謝の意味を込めて行っているもの。

この日は、午前8時に社屋前に集合、今年からの工事と同じく、手抜きのない丁寧な仕事振りで作業は午後一杯続けられ、夕方近くになってようやく完成。参加者は見事に仕上がった道路を満足そうに眺めていた。

道路沿いの草取りなども行った奉仕作業
＝鹿児島市の国道3号で

作業に参加した集さんは「最近、雨が多いこともあり、歩道部分の花壇の草が伸び放題で歩行者の邪魔になってるところも多かった。草を取り、見通しも気分もスッキリし一石二鳥。奉仕作業で地域住民へ少しでもコミュニケーションがとれたようでうれしい」と語った。

作業は午後一杯続けられ、夕方近くになってようやく完成。参加者は見事に仕上がった道路を満足そうに眺めていた。

当日の参加業者は、㈲産業㈲、福永建設㈱、第尚武組、迫村工業㈱、森一建設㈱、㈱山藤建設。